

## 四極会寄附講義「会社研究」令和4年度 第8回目

令和4年6月8日(水) 13時10分

講師 株式会社三浦造船所

代表取締役 三浦 唯秀 氏(大学33回)

### テーマ「造船を通じて行う環境及び社会への貢献」

内航船の建造などで著名な三浦造船所。その経営にご尽力されている講師の先生が、大学時代、20代の日鉄商事及び日鉄リースの時代、そして三浦造船所の時代と、三つの時代における経験を踏まえ、学生諸君にアドバイスをされました。



その概要は、次のとおりです。

大学時代の経験から、経済学部に入ってよかったと思える充実した大学生活を送ってほしい。「目的があればその方法は無限大」です。自分のやりたいことに挑戦してほしい。

20代は、経験が少ないのでとにかく知識を得る努力をしてください。知識が経験を凌駕する。とにかく仕事に関する知識を積極的に得る。資格取得もその一つ。「資格は荷物になりません」。

三浦造船所の経営に携わって、現在は業績も回復しているが、過去にはかなり厳しい時期もあった。その時の経験から、「決してあきらめないこと」が大事。そうすれば、誰かが助けてくれ、運もついてくる。そうしたことで乗り越えてきた。

今、業界においても、持続可能な社会の実現を目指し、2030年度のCO2削減目標の達成と2050年のカーボンニュートラル実現のため、化石燃料からLNG、水素、アンモニア等の新燃料への変換の取組がなされている。

また、カーボンニュートラルと戦争による原材料、資機材の上昇も課題となっている。

このような予測が難しい時代ではあるが、日頃から技術力を培って行くことが大切だと考えている。

終わりに「不自由を、常と思えば、不足なし。心に望み起こらば、困窮したるときを思い出すべし。」という徳川家康の言葉を皆さんに送りたい。

以上